

“スペースシャトル・ディスカバリー号(STS-116)の状況”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

☆ミッションは1日延長、4回目の船外活動を実施

スペースシャトル・ディスカバリー号(STS-116)がドッキングした国際宇宙ステーション(ISS)では、計4回の船外活動が行われました。第1～3回の船外活動では、計画通り、P5トラスの取付けやISSの電力系統の切替えが行われました。この作業で、前回のSTS-115ミッション(2006年9月)でISSに取り付けられたP4トラスの太陽電池パドル(Solar Array Wing: SAW)からの電力をISSに供給できるようになりました。現在、P4トラスのSAWは太陽を追尾するように回転しています。

P5トラスの取付け
(飛行4日目)第1回船外活動
(飛行4日目)第2回船外活動
(飛行6日目)軌道上共同記者会見
(飛行7日目)第3回船外活動
(飛行8日目)

12月14日に、今後のミッションでP6トラスをP5トラスの先へ移設する準備の一環として、6年振りにP6トラスの左舷側のSAWを収納しようとしたのですが、収納途中でSAWの折り目部分(ヒンジ部)のゆがみにより、半分程度しか収納することが出来ませんでした。

その後、3回目の船外活動でSAWを揺らしてみましたが、完全に収納することは出来ませんでした。そこで、SAWの収納を完了させるためにミッションを1日延長し、ロバート・カービーム、クリスター・フューゲルサング両宇宙飛行士が第4回船外活動を実施することになりました。12月19日、第4回船外活動は6時間38分にわたり実施され、SAWの収納は完了しました。カービーム宇宙飛行士は、1回のスペースシャトル・ミッションでの船外活動回数記録を、本ミッションにて4回に更新しました。

ディスカバリー号は、12月20日午前7時9分にISSから分離し、12月23日午前5時56分(米国東部標準時間12月22日午後3時56分)にNASAケネディ宇宙センター(KSC)に帰還する予定です。

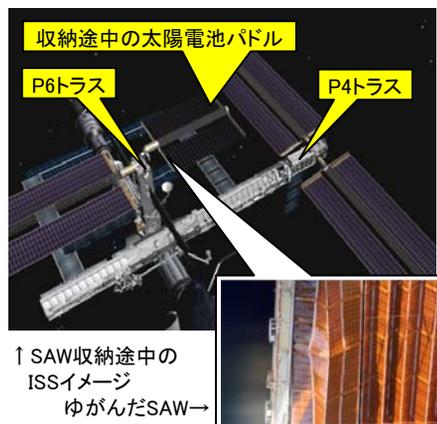
ミッションの最新情報や詳細は以下のホームページをご覧ください。

●STS-116ミッション

<http://iss.sfo.jaxa.jp/iss/12a.1/>(JAXA: 日本語)

http://www.nasa.gov/mission_pages/shuttle/shuttlemissions/sts116/(NASA: 英語)

(画像は全てNASA提供)



収納途中の太陽電池パドル

P6トラス

P4トラス

↑ SAW収納途中のISSイメージ
ゆがんだSAW→

第4回船外活動で収納されたSAW

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

☆最初のISS構成要素打上げから2951日経過しました

☆第14次長期滞在クルーのISS滞在は90日経過しました

☆ISS動向

第14次長期滞在クルーのマイケル・ロペズ-アレグリアとミハイル・チューリン、そしてトーマス・ライター宇宙飛行士と交替したスニータ・ウィリアムズ宇宙飛行士は、ディスカバリー号(STS-116)のクルーと共同で作業を行い、ディスカバリー号とISS間の物資の移送作業や船外活動の準備作業を行いました。

ライター宇宙飛行士は、ディスカバリー号に搭乗して帰還すると、ISSに168日間滞在したことになります。



第14次長期滞在クルーとSTS-116クルー全員での食事(提供: NASA)

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>Eメール kibo-pao@jaxa.jpウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。